

■ 「効果の見える治水事業」

愛媛県（二）大川水系 大川 広域河川改修事業



愛媛県中予地方局建設部長 玉井 龍太

大川は、松山市御幸寺山にその源を発し、県都松山市の北部を流下し瀬戸内海に至る、流域面積 24.1 km²、延長 8.5 km の二級河川です。

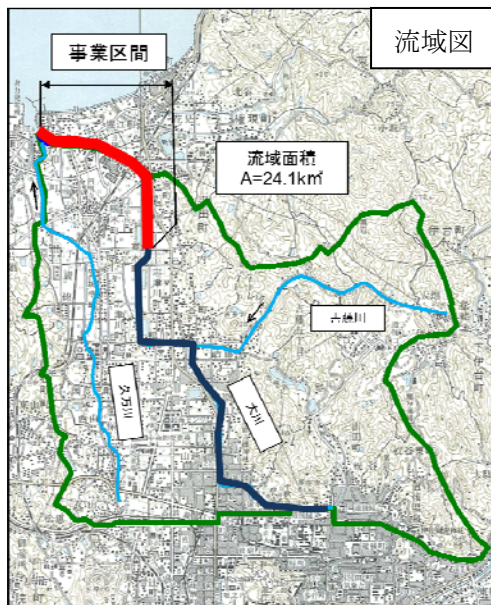
大川は、中流域の一部田園地帯を除けば、河川に近接して住宅や工場が密集する典型的な都市河川である一方で、流域の規模に対して河積が著しく狭く、また、高潮などの海水面の影響を受ける地理的要因も重なって、昭和 18 年 7 月には浸水家屋 5,000 戸、農地浸水面積 780ha にも及ぶ大災害が発生するなど、古くから浸水被害が頻発する河川として知られておりました。

そのため、愛媛県では、浸水被害の軽減を目的として、昭和 45 年度から延長 2,650m にわたって堤防や護岸の整備、川幅の拡大、河道掘削等を行う河川改修事業に取り組んでおり、平成 28 年度末現在で、河口から約 1,740m までの区間の整備が完了しております。

近年では、下流域において、内水によるものを除き浸水被害が見られなくなったことから、地元住民からの河川改修による効果についての評価は高く、事業の一層の促進を求められています。

愛媛県では、今後も引き続き関係機関や地元住民の協力をいただきながら、事業を推進し、治水安全度の向上に努めたいと考えております。

位置図



標準断面図

